

2022年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	環境情報学特別演習Ⅱ（Environmental Information Engineering SeminarⅡ）		
ナンバリングコード	R30402	大分類 / 難易度 科目分野	環境情報学専攻 / 応用レベル
単位数	2	配当学年 / 開講期	2年 / 通年
必修・選択区分	必修 ※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	M001208	クラス名	松永研究室
担当教員名	松永 多苗子		
履修上の注意、 履修条件	前年に引き続き、特別研究を遂行するための、具体的なスキルの習熟のための科目です。 特別演習は授業時間に関わらず、日常的な取り組みが重要です。自発的に取り組むように心がけてください。		
教科書	特になし		
参考文献及び指定図書	適時、指示します。		
関連科目	環境情報学特別演習Ⅰ，環境情報学特別研究		

○基本情報							
授業の目的	本科目は、工学研究科環境情報学専攻のディプロマポリシー「広い視野と高度な専門技術を発揮でき、地域社会の発展に貢献できる能力を身につけること」に関連するもので、修士課程の研究を完成させるにあたり、課題解決に向けた理論構築と計画的な研究遂行能力、および、修士論文作成能力を身につけることを目的としています。						
授業の概要	環境情報学特別演習Ⅰでの成果を踏まえ、課題解決に向けた調査・実装・実験を継続して実施します。 毎回、実施状況等についてのレポートを提出するものとします。修士論文のまとめ方に関しても指導します。						
授業の運営方法	<table border="1"> <tr> <td>(1)授業の形式</td> <td>「演習等形式」</td> </tr> <tr> <td>(2)複数担当の場合の方式</td> <td>「該当しない」</td> </tr> <tr> <td>(3)アクティブ・ラーニング</td> <td>「PBL(課題解決型学習)」</td> </tr> </table>	(1)授業の形式	「演習等形式」	(2)複数担当の場合の方式	「該当しない」	(3)アクティブ・ラーニング	「PBL(課題解決型学習)」
(1)授業の形式	「演習等形式」						
(2)複数担当の場合の方式	「該当しない」						
(3)アクティブ・ラーニング	「PBL(課題解決型学習)」						
地域志向科目	該当しない						
実務経験のある教員による授業科目	松永多苗子 情報工学分野において、企業*における研究・開発実績がある。 * (株)富士通研究所(19年) (株)ロジック・リサーチ(2.5年)						

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【関心・意欲・態度】	自分の研究テーマの社会的意義を理解し、強い関心を持って研究に取り組むことができる。			20点
【知識・理解】	専門分野に関連する基礎知識を理解できる。 文献調査により既存の技術の核となる部分を理解し、利活用できるまでの能力を獲得する。		20点	
【技能・表現・コミュニケーション】	技術論文としての要件を満たした文書として、自分の研究をまとめることができる。		20点	20点
【思考・判断・創造】	物事の本質を理解し、異なる分野の問題解決に対しても応用することができる。		20点	

○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)
成績は、提出物(毎回のレポート、および、期末報告書)、無形成果(プレゼンテーション内容、課題への取り組み状況)を総合して評価します。提出物については、次の週にフィードバックします。

○その他

2022年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画	科 目 名 担当教員	環境情報学特別演習Ⅱ（Environmental Information Engineering） 松永 多苗子	授業コード	M001208
学修内容				
1. 研究発表 自分の研究テーマに関して、研究背景、位置づけ、アプローチ、コントリビューションに着目したプレゼンテーションを行い、今後の方向性について議論します。研究を補完する上で必要な項目を挙げ、実施計画を立てます。				
予習		発表準備。		約2時間
復習		実施計画作成。		約2時間
2. 調査・実装・実験 作成した計画に基づき、調査・実装・実験を継続します。				
予習		計画に基づいた、実施項目の確認。		約2時間
復習		活動内容の報告。		約2時間
3. 調査・実装・実験 作成した計画に基づき、調査・実装・実験を継続します。				
予習		計画に基づいた、実施項目の確認。		約2時間
復習		活動内容の報告。		約2時間
4. 調査・実装・実験 作成した計画に基づき、調査・実装・実験を継続します。				
予習		計画に基づいた、実施項目の確認。		約2時間
復習		活動内容の報告。		約2時間
5. 調査・実装・実験 作成した計画に基づき、調査・実装・実験を継続します。				
予習		計画に基づいた、実施項目の確認。		約2時間
復習		活動内容の報告。		約2時間
6. 調査・実装・実験 作成した計画に基づき、調査・実装・実験を継続します。				
予習		計画に基づいた、実施項目の確認。		約2時間
復習		活動内容の報告。		約2時間
7. 調査・実装・実験 作成した計画に基づき、調査・実装・実験を継続します。				
予習		計画に基づいた、実施項目の確認。		約2時間
復習		活動内容の報告。		約2時間
8. 振り返り 調査・実装・実験結果を整理し、自分の研究へのフィードバックを検討します。				
予習		これまでの実施内容の確認。		約2時間
復習		フィードバック内容の明文化。		約2時間

○授業計画	科 目 名 担当教員	環境情報学特別演習Ⅱ（Environmental Information Engineering） 松永 多苗子	授業コード	M001208
学修内容				
9. 課題への取り組み 自分の研究テーマにおける課題を確認し、方策を検討します。				
予習		研究状況を整理する。		約2時間
復習		検討経過を資料化する。		約2時間
10. 課題への取り組み 自分の研究テーマにおける課題を確認し、方策を決定します。				
予習		検討内容を確認する。		約2時間
復習		検討結果を資料化する。		約2時間
11. 調査・実装・実験 決定した方策を踏まえて、必要な調査・実装・実験を行います。				
予習		実施項目の確認。		約2時間
復習		調査・実装・実験経過の資料化。		約2時間
12. 調査・実装・実験 決定した方策を踏まえて、必要な調査・実装・実験を行います。				
予習		実施項目の確認。		約2時間
復習		調査・実装・実験経過の資料化。		約2時間
13. 調査・実装・実験 決定した方策を踏まえて、必要な調査・実装・実験を行います。				
予習		実施項目の確認。		約2時間
復習		調査・実装・実験経過の資料化。		約2時間
14. 調査・実装・実験 決定した方策を踏まえて、必要な調査・実装・実験を行います。				
予習		実施項目の確認。		約2時間
復習		調査・実装・実験経過の資料化。		約2時間
15. 調査・実装・実験 決定した方策を踏まえて、必要な調査・実装・実験を行います。				
予習		実施項目の確認。		約2時間
復習		調査・実装・実験経過の資料化。		約2時間
16. 総括 研究テーマの課題とそれに対する方策、実験・評価結果のプレゼンテーションを行います。				
予習		プレゼン資料を作成する。		約2時間
復習		報告書を作成する。		約2時間

2022年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画		科 目 名	環境情報学特別演習Ⅱ（Environmental Information Engineering）	授業コード	M001208
		担当教員	松永 多苗子		
学修内容					
17. 研究発表					
期末, および, 夏休みの間の進捗を踏まえて, 研究状況を発表し, 今後の方向について議論する.					
予習	発表資料作成.				約2時間
復習	追加調査・実験の計画.				約2時間
18. 調査・実装・実験					
作成した計画に基づき, 調査・実装・実験を継続します.					
予習	計画に基づいた, 実施項目の確認.				約2時間
復習	活動内容の報告.				約2時間
19. 調査・実装・実験					
作成した計画に基づき, 調査・実装・実験を継続します.					
予習	計画に基づいた, 実施項目の確認.				約2時間
復習	活動内容の報告.				約2時間
20. 調査・実装・実験					
作成した計画に基づき, 調査・実装・実験を継続します.					
予習	計画に基づいた, 実施項目の確認.				約2時間
復習	活動内容の報告.				約2時間
21. 調査・実装・実験					
作成した計画に基づき, 調査・実装・実験を継続します.					
予習	計画に基づいた, 実施項目の確認.				約2時間
復習	活動内容の報告.				約2時間
22. 調査・実装・実験					
作成した計画に基づき, 調査・実装・実験を継続します.					
予習	計画に基づいた, 実施項目の確認.				約2時間
復習	活動内容の報告.				約2時間
23. 調査・実装・実験					
作成した計画に基づき, 調査・実装・実験を継続します.					
予習	計画に基づいた, 実施項目の確認.				約2時間
復習	活動内容の報告.				約2時間
24. 振り返り					
追加で行った調査・実装・実験結果をまとめて報告し, 自分の研究へフィードバックをかける.					
予習	一連の調査・実験内容及びその関連性の確認.				約2時間
復習	自分の研究との関連性の明文化.				約2時間

○授業計画		科 目 名	環境情報学特別演習Ⅱ（Environmental Information Engineering）	授業コード	M001208
		担当教員	松永 多苗子		
学修内容					
25. 論文作成指導/実験・評価					
研究の最終段階を継続しつつ，得られた成果をどのように表現するかを議論しながら論文を作成していきます。					
予習	論文ドラフト作成。				約2時間
復習	論文推敲。				約2時間
26. 論文作成指導/実験・評価					
研究の最終段階を継続しつつ，得られた成果をどのように表現するかを議論しながら論文を作成していきます。					
予習	論文ドラフト作成。				約2時間
復習	論文推敲。				約2時間
27. 論文作成指導/実験・評価					
研究の最終段階を継続しつつ，得られた成果をどのように表現するかを議論しながら論文を作成していきます。					
予習	論文ドラフト作成。				約2時間
復習	論文推敲。				約2時間
28. 論文作成指導/実験・評価					
研究の最終段階を継続しつつ，得られた成果をどのように表現するかを議論しながら論文を作成していきます。					
予習	論文ドラフト作成。				約2時間
復習	論文推敲。				約2時間
29. 論文作成指導/実験・評価					
研究の最終段階を継続しつつ，得られた成果をどのように表現するかを議論しながら論文を作成していきます。					
予習	論文ドラフト作成。				約2時間
復習	論文推敲。				約2時間
30. 論文作成指導					
論文を推敲します。					
予習	指摘された事項の修正。				約2時間
復習	指摘された事項の修正。				約2時間
31. 論文作成指導					
論文を推敲します。					
予習	指摘された事項の修正。				約2時間
復習	指摘された事項の修正。				約2時間
32. 論文作成指導					
論文を完成させます。					
予習	指摘された事項の修正。				約2時間
復習	論文の完成。				約2時間